

水土里レポート

投稿月日	令和7年12月12日
タイトル	身近な用水路の水質 出前授業
水土里レポーター名	水土里ネット吉井川下流 前田明彦

令和7年11月20日(木)、当改良区管内の岡山市立雄神(おがみ)小学校5年生が取り組んでいる田んぼの学習の一環として、身近な用水の水質について出前授業を行いました。

まず、用水路にある施設の概要や役割などについて写真等を使用し説明を行った後、水質の検査(ハッケント)でどれくらいの汚れがあるかを水道水に混ぜ物をして各班に調べてもらいました。また、先生には、採水した水を調べてもらいました。



各班に分かれてそれぞれ下記手順で検査しました。

- 1 検査項目確認！
- 2 検査キットで採水し混ぜる(振る)回数の確認！
- 3 混ぜた後の待ち時間の確認！
- 4 色見表との数値の比較！

検査後に各班に混ぜたものの発表を行いました。



また、学校の中にあるもので水質検査を実施しました。

- ①消毒用アルコール
 - ②チョークの粉
 - ③教室で飼育しているメダカの水
- 昨年に検査したメダカの水より今年度はきれいでした。
- また、チョークの粉を混ぜるとピンク色になりましたが、反応には影響なく検査できました。

検査後に農林水産省職員による「ジュニア農林白書2025」を使った食料自給率に関するクイズ形式での勉強や特定外来生物「カワヒバリガイ」の注意喚起を行いました。授業の終わりには、児童たちから多くの質問が寄せられ、チャイムが鳴ってもその熱は冷めることなく、先生が「時間になったのでここまでにしましょう」と声を掛け、名残惜しさの中で授業を締めくくりました。熱心に水質検査や自給率・特定外来生物に興味を示してくれ、有意義な時間となりました。

